

## 結城市障害者福祉センターの指定管理者公募に向けた サウンディング型市場調査の結果について

結城市では、結城市障害者福祉センターの機能拡充を図るため民間事業者様との対話によるサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

今後、頂いたご意見ご提案等を参考に次期指定管理者への管理運営方法について検討していきます。

### 1 参加事業者数

2者

### 2 個別対話実施日

令和5年4月27日

### 3 個別対話の結果概要

<b>1 事業者を公募した場合の関心度について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・大いに関心がある1者、条件次第1者</li></ul>
<b>2 管理・運営について</b>
<p>障害者福祉センターの維持管理・運営業務を効率的・効果的に実施するための意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現行の5年の指定期間は短い。指定期間を長期化することで就労継続支援等のサービスの充実が図れるとの意見があった。</li><li>・指定特定相談支援事業所を併設し障害福祉サービスと一体的に実施することで利用者の利便性を高める。このことにより財政の収支改善が図れるとの意見があった。</li><li>・相談支援事業の充実を図る必要がある。それには専門的な相談ができる専門職（相談支援専門員等）が必要だが雇用や収益の面から難しいという意見があった。</li><li>・障害者福祉センターの職員を増員し提供サービス拡充の提案があった。</li><li>・イベントや地域との交流事業を積極的に行うため土・日曜日開館の提案があった。</li><li>・補助事業者を導入することで障害者福祉センターの機能拡充が図れる可能性について提案があった。</li><li>・指定管理料の見直しについて意見があった。</li></ul>

### 3 施設・物品について（ハード面）

施設・設備の有効活用について意見がありました。

- ・現在利用していない部屋、スペースの活用方法について、また改修について提案があった。
- ・日常訓練等における浴室の利用について提案があった。
- ・スロープの設置など障害者が利用しやすい施設について意見があった。
- ・イス、テーブル等の作業物品他、自立訓練等に必要な物品についての意見があった。
- ・安全対策についての意見があった。
- ・監視カメラの設置について意見があった。
- ・空調設備について意見があった。

### 4 障害者支援について（ソフト面）

障害者支援の充実・拡充に向けた意見がありました。

- ・相談支援機能の充実について提案があった。
- ・出来ないことの解決への相談ができる場所、一緒に考えてもらえる場所となるよう相談機能を充実すべきとの意見があった。
- ・地域生活支援事業（日中一時支援事業等）実施について提案があった。
- ・レスパイトケアの提案があった。
- ・地域住民と繋がるよう利用者に役割をもたせる展開について提案があった。
- ・利用者の状態像に応じた適切なサービス利用について提案があった。
- ・ニーズがあれば通所系サービスに加え訪問系サービスの導入について提案があった。
- ・地域交流の場、居場所となる場とする提案があった。

### 5 自由提案・懸案事項等について

- ・障害者の拠点施設として他団体や地元住民とのイベント開催や、就労支援事業での製造品の販売について提案があった。
- ・福祉避難所として備蓄品や設備について意見があった。
- ・防災避難訓練等について意見があった。
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる施設とする提案があった。
- ・屋外の利用について提案があった。
- ・「茨城県機能訓練サービス等強化推進事業」の活用についての意見があった。
- ・障害関係機関外（地域おこし協力隊）とのコラボによる交流会など提案があった。

#### 4 今後の方針

公募参加に意欲的な事業者が複数あることを確認できました。また、個別対話事業者からの貴重なご意見をお聞きすることができました。今後、施設整備等についての課題を整理したうえで、障害者福祉センターの機能拡充に向け業務内容等を十分に検討し、市民や指定管理者にとってお互いに有意義なものとなるよう具体的に検討を進めます。